

二分の一成人式

～親から子へ・子から親への手紙～

家庭部会では、親子の絆を深め合う取り組みとして、今年も10歳を迎える子どもと親がお互いに手紙を送りあう「二分の一成人式」を行いました。心あたまるメッセージの一部を紹介します。

親から子へ

二分の一成人式おめでとう！！早いものでもう10歳になるね。小さい頃は踊ることが大好きで、音楽に合わせて体を動かしたり、いつも笑顔でみんなを楽しませてくれたね。あなたの笑顔が家族を一つにしてくれました。まだ小さなあなたを家に置いて働くことがどんなに辛かったか……。でもあなたの笑顔のおかげで頑張ることができたり、休みの日に一緒に居られることが、とっても幸せでした。ママの毎日はあなたが笑顔でいてくれるからとても幸せなものになりました。誰にでも優しく誰にでも仲良くなれる思いやりのある子に成長してくれたことを嬉しく思います。あなたのやりたいことを全力で応援するからね。あなたらしくいられるように毎日を楽しみながら歩いていけることを心より願っています。



子から親へ

お母さんへ
よく、ごはんを作ったり、せんたくをしたりしてくれてありがとう。仕事があったりして、あまりいっしょに遊んだりできなくて、さみしいときもあるけど、いっしょに旅行に行く時とってもうれしいよ。もっといっしょにたくさん思い出を作ろうね。大好きだよ。

親から子へ

二分の一成人式…十年の月日がとても早く感じます。自分の好きな事には妥協せず、真っ直ぐ取り組む集中力は、見ていて本当にすごいなぁ！と感心しています。それはあなたの長所に繋がるポイントだと思います。長所は自分の強みにして、これからの人生に活かして欲しいです。そして、お母さんは、あなたと同じ時間を共有して、一緒に笑える瞬間が、とても好きです。これからも、たくさん一緒に笑いたい。家族と一緒に！お友達と一緒に！これからもたくさん笑って過ごしてください。二分の一成人式！心からおめでとう！！お父さん、お母さんの元に生まれてきてくれてありがとう！！

子から親へ

生んでくれてありがとう！！
ぼくがくじけているときや、何かをしているときなど、たくさんのことをしてくれるお父さん、お母さん。お父さんのことはとてもすごいと思っています。この前も、宿題を教えてください、自分で出来ないと知っていることもぼくの気持ちをかんがえて、進めてくれたりしてくれました。ぼくはお父さんのことをとてもそんけいしています。ありがとう。次にお母さん。ぼくがくじけているときや、家庭をささえてくれているのはお母さんのおかげです。ありがとう。ぼくもがんばってお母さんとお父さんのような大人になります！

かさまつ

青少年育成町民会議だより

いっしょに考えてみませんか…子どもの「にこころ」を育む大人の姿



青少年健全育成講演会



講師 高橋 正紀氏



「笠松町あいさつ運動」を行いました



年に3回、「笠松町あいさつ運動」を行っています。この運動をきっかけにして、子どもも大人もみんなで顔見知りになりましょう。笑顔で挨拶を交わす明るい笠松町にしましょう。

○発行／笠松町青少年育成町民会議 ○バックナンバーは笠松町のホームページからご覧になれます。
<http://www.town.kasamatsu.gifu.jp/>

十一月の青少年健全育成全国強調月間に合わせて、岐阜経済大学経営学部教授の高橋正紀氏を講師に迎え、「子どもたちの自己肯定感を育むためには一流のスポーツマンの「こころ」から考える」をテーマに講演会を開催しました。

例えば、「おこる」と「しかる」の明確な違いをみなさんはどのようにお考えでしょうか。「おこる」は、「感情的に」「過去に焦点をあてて」など、相手のためではなく、自分のために「おこる」といえます。それに対して「しかる」は、「理性的に」「未来を見据えて」など相手のために試行錯誤しながら「しかる」といえます。つまり「しかる」は「支援を怠らない厳しさ」であるということです。時には必要な「厳しさ」には、子どもたちの未来を見据えた温かい支援が必要不可欠であり、「おこる」だけの「怠慢な厳しさ」は子どもたちの「こころ」を健やかに育むことはできません。

今回の講演会は、子どもたちへの関わり方を再度見直すよい機会となりました。青少年を取り巻く環境は、日々変化しています。わたしたち地域の大人も、子どもたちの健やかな育ちのために、このような講演会等の機会を通して学んでいきたいと思います。

青少年育成部会

平成30年6月24日開催

第40回 少年の主張大会

最優秀賞に選ばれた2名の方は「少年の主張岐阜県大会」岐阜圏域選考委員会に推薦されました。

最優秀賞



自然災害と向き合う
道家 汐乃

中学生の部



優秀賞

岩田 萌々 宮崎 桃羽 渡部 康希

最優秀賞



Japanese English
五藤 大智

小学生の部

優秀賞



松枝小 小林 歩叶 松枝小 浅野 紗那 下羽栗小 後藤 慶次朗 下羽栗小 柴田 莉聖 笠松小 永田 桃花 笠松小 蓮田 美桜

青少年育成部会

最優秀賞



あたたかい町・心の町
笠松小2年 織田 理史



家族のおかげで
できるようになったこと
下羽栗小3年 田島 蒼士



地域の行事に
自分から参加して...
下羽栗小5年 川出 亜依



人と人が支え合うこと、
助け合うこと
笠松中3年 加藤 千聖

青少年の作文

テーマ「家庭・学校・地域」

優秀賞

松枝小1年 若曾根 莉穂
松枝小4年 林 愛歩

笠松小6年 西尾 宗一郎
笠松中1年 安江 凜桜

入選

笠松小 1年 間宮 歩士
下羽栗小1年 栗原 穂果
松枝小 2年 西部 伶音
下羽栗小2年 伊藤 由菜
笠松小 3年 園部 陽葵
松枝小 3年 小川 菜奈
笠松小 4年 後藤 杜希夫

下羽栗小4年 工藤 耕太郎
笠松小 5年 篠田 百合愛
松枝小 5年 浅井 琉聖
松枝小 6年 竹内 椋乃
下羽栗小6年 安藤 愛菜
笠松中 2年 安田 朱里

(敬称略)

青少年育成部会

街頭啓発活動

青少年によい環境を

青少年の非行・被害防止全国強化月間にあわせて、7月1日(日)「トミダヤ(長池)」「ピアゴ(米野)」、7月5日(木)「笠松駅」で啓発活動を行いました。準備を岐阜工業高校の皆さんにご協力いただきました。



▲笠松中央公民館前にて出発式



▲トミダヤ(長池)での啓発活動



▲笠松駅での啓発活動



▲ピアゴ(米野)での啓発活動

地域活動部会

三世代ふれあい活動

地域活動部会では、青少年の健全育成や地域活性化を目指して、育成員を中心に子どもからお年寄りまでが共に交流する「三世代ふれあい活動」を推進しています。



▲田代西「笠松春まつり祭礼みこし」



▲泉町「ラジオ体操」



▲宮川町「三世代餅つき」



◀下柳川・上柳川・門前町
「三世代夏祭り」

